

## 令和2年度 公開講座（短期課程）

担当科名	機械システム系メカトロニクス科
担当者名	山口俊憲
講座名	中小企業のための生産改善・革新セミナー（3）人間工学・UX（ユーザ体験） ～人間中心、ユーザ体験を考慮した“モノ・サービス・改善”プロセスの設計～
実施日時	① 令和2年8月26日（水） 18:00～21:00
	② 令和2年9月 2日（水） 18:00～21:00
	③ 令和2年9月 9日（水） 18:00～21:00
	④ 令和2年9月16日（水） 18:00～21:00
	⑤ 令和2年9月23日（水） 18:00～21:00（計15時間）
募集定員	6人
募 集 対 象	対象職種：不問（講座名がものづくりになっておりますが、事務系・技術系を問わず様々な業種・職種の方が参加可能です。）
	受講に必要なレベル：不問（受講生の状況・希望に応じて内容を調整）
注 意 点	<p>中小企業のための生産改善・革新セミナー(1)～(6)は企業などとの連携を通じて実際に現場改善に取り組む同一講師が全て担当しています。講座(1)～(6)の全てを受講することで、ものづくり改善に必要な知識を体系的に習得できますが、各講座を一つずつ受講しても理解できるような工夫をしています。例年、一つの講座を受講される方、全て受講される方、数年かけて全てを受講される方がいらっしゃいます。また、このセミナーは主に社会人を対象とした1年課程の「<b>産業技術専攻科</b>ものづくり改善コース」と一部連携しています。産業技術専攻科では、この講座を担当する講師と実際に現場の改善に取り組み、リードタイム短縮、残業時間削減、不良率低減、安全性向上を実現しています。<b>産業技術専攻科の活用</b>もご検討ください</p>
講 座 内 容	<p>真の生産性向上には、効率化と付加価値向上の二つの方法があります。生産改善によって得られた余裕を市場での競争力を増すためにコスト削減に使うのか、あるいは企業が持つ技術を活用して新しい市場への進出を目指すのか、考えなければならない場面にきています。様々な自治体でも中小企業に対する製品開発支援施策が策定されています。しかし、これまで製品開発に取り組む機会の少なかった中小企業にとってどのような製品を作ったらよいかを考え、まとめ、提案するのは非常に難しいのではないのでしょうか。そこで、本講座では、近年注目されている、ユーザ体験（UX: User Experience）を意識した製品開発の手法について紹介致します。UXに基づく製品開発とは、使う人の体験を考えたものづくりになります。この考え方は製品（モノ・サービス）開発にも活用できますし、生産改善を行なうときにも非常に重要な考え方になります。</p>
目 標	ユーザ体験（UX）に基づく製品開発の考え方、製品開発の手順を理解する。

履修項目	①人間工学とは ②人間中心設計とは ③UX とは ④問題解決型アプローチと提案型アプローチ ⑤UX の考え方に基づく製品設計方法 ⑥UX の考え方に基づく製品設計演習 ⑦UX の考え方に基づく生産改善方法					
使用装置 ソフト・ 図書等	特になし					
受講費用	受講料：6,900 円（15 時間コース）					
	自己負担：                    円（テキスト：                    円・材料費：                    円）					
講座費用	報 償 費	円	印刷製本費	円	材 料 費	円
	費用弁償	円	消耗品費	円	通信運搬費	円
	普通旅費	円	使用賃借料	円		
そ の 他	<p>○ 単位互換について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専門課程での単位互換はない。</li> <li>・ この講座を受講することで、産業技術専攻科ものづくり改善コースの「人間工学」の受講を一部免除する。</li> </ul> <p>○ 講師と講座について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中小企業のための生産改善・革新セミナーを担当する講師は大学・大学院で経営工学を専攻し、その後 10 年以上にわたり企業の生産現場などの改善に取り組んできています。</li> <li>・ このセミナーは社会環境の変化や講師が生産改善に取り組んだ成果などに基づき数年に一度大きな変更を加えながら 10 年以上開講し、これまで延べ 700 人近くの方が受講しています。</li> </ul> <p>*受講生と密なディスカッションを行うため、最大受入れ人数と定員を同じとしています。</p>					